



塚本小学校 検索

校長先生からのメッセージ

「豊かな人間性を育み、強くまじめに明るく生きぬく子どもを育てる ～自分の考えや思いを自分の言葉で話すことができる～」を学校教育目標として、教職員一同一丸となって、教育活動を推進しています。「一生懸命考える子」「心豊かな子」「元気な子」「仲間を大切にできる子」「気持ちよくあいさつする子」を育て、子ども達のもっている「力」や一人一人のよさ、可能性を伸ばし、豊かな人間性を育む教育活動を展開していることが、本校の特長です。望ましい人間関係の構築をめざし、めまぐるしく変化する社会の中で、子ども達が正しい判断力と表現力を身につけ「生き抜く力」を身につけてほしいと願っています。

● 学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。
 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

・デジタルドリル等のデジタル教材を活用した授業を毎日実施する。

● 令和3年度全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数
学校	64	72
大阪市	63	69
全国	64.7	70.2

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

国語平均正答率は64%で、大阪市を1%上回り、全国を0.7ポイント下回っています。算数は72%で大阪市を3ポイント、全国を1.8ポイント上回っています。本校で取り組んできた国語科の研究の成果、「言語力の育成をめざす国語科指導のあり方」を通して主体的に考え、話し合うことができる学習活動を進めています。また、他教科にもこの学習活動を広げていきます。学習の「振り返り」では、一人一台端末を使って、個に応じた指導の充実を図っています。

● 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	14.80	16.40	29.10	36.50	38.20	9.70	148.80	20.10	47.20
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	14.60	16.10	32.10	34.40	27.20	10.00	137.70	12.10	47.00
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

今年度は、男女ともに体力合計点が大阪市・全国平均値を下回る結果となった。その中でも、20メートルシャトルラン・長座体前屈において、大阪市平均を大きく下回る結果となった。また、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答が全国平均では、男子91.0%・女子83.7%に対して、本校では、男子83.7%・女子70.2%とともに低い結果となっている。運動量をしっかりと確保し、児童に目標を明確に持たせた上で事後に振り返る活動を充実させたり、ICTを活用して自分の技を振り返らせたりするなどして、主体的に運動に取り組むことができるようにする。

塚本の教育のキャッチフレーズ

「なすことによって学ぶ」
 つ「つよい」
 か「かんがえる」
 も「もえる」
 と「ともにはげみ高め合う」子



【土曜授業】

学校と家庭・地域の連携を深め、学校の特長を生かす場として、計画・実践していきます。
 引き渡し訓練・学習発表会・普通授業

◆めあてに向かって努力する「生きる力」の育成

教育活動においてのそれぞれの場面で目標を設定し、それぞれの子どもがその目標をめざして進む「見通しー振り返り」学習活動を展開しています。主体的な学習態度を育成するため、学年の発達段階に応じて、「めあてをもつー活動するー振り返る」という授業を展開しています。振り返りの場では、学習のまとめにおいて「めあて」を振り返り、次時の学習における「めあて」や課題の設定、追求の方法を考えます。
 子ども達の「生きる力」につながるよう教育活動を積み重ねています。

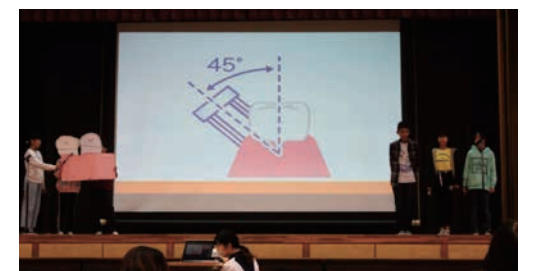
◆たてわり班の仲間づくり

たてわり班での活動は、異学年との交流を深め、よりよい集団づくりにつながっています。リーダーシップとフォロワーシップを発揮しながら、集団で活動する環境づくりを体得していく場となっています。たてわり班は、1年生から6年生までの約630名の子ども達が18班に分かれて、学校全体の仲間づくりを、めざしています。



給食後の歯みがきが習慣化

給食終了後、一斉に歯みがき活動を行います。クラスの友だちとみんなで順序よく歯をみがくことで、習慣化しています。教室での歯みがき活動は、子ども達が自主的にリードし、順序などを伝え、進んで取り組んでいます。食後の歯みがきを通して、自ら歯や口腔の健康を守る態度が身につきます。歯ブラシを正しく持って、みがきにくいところを工夫してみがこうという気持ちが高まっています。
 健康委員会の児童がリーダーシップを発揮して、健康保持推進のために歯みがきリーダーを努める「わっはっは活動」も展開しています。
 本年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部の活動を自粛しています。



◆望ましい人間関係づくり

集会活動では、それぞれの児童が自主的自発的にリーダーシップとフォロワーシップを発揮しています。ふれあいの場において成就感や満足感を味わうことを通じて自分自身の有用性を感じることができるので、自尊感情が高まっています。
 音楽集会では、心を込めて歌う活動を積み重ねているので、表現力が向上しています。友だちの歌声によるハーモニーによって、豊かな感性が育まれています。さまざまな音楽活動を通して、歌う楽しさを味わうだけでなく、リズム感も養っています。



塚本小 QRコード

